

令和3年6月8日

各大学長
各大学理学部長
各大学理工学部長 殿
各大学農学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
佐藤裕之
(公印省略)

自然科学系 農学・生命科学領域（植物分子生理学分野，農学生命科学部）教員公募要項

1. 募集職種・人員 助教 1名
2. 任 期 任期なし
3. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
(専任担当組織：農学生命科学部 生物学科)
4. 専 門 分 野 植物分子生理学分野
5. 担 当 科 目 農学生命科学部：
〔専任担当科目〕植物分子生理学，生物学専門実験Ⅰ・Ⅱ，
専門英語Ⅰ・Ⅱ，生物学演習，卒業研究
〔分担科目〕海外研修入門，生物学実験Ⅰ又はⅡ，外書講読など
大学院農学生命科学研究科：
〔専任担当科目〕専攻分野の担当科目，特別研究，特別演習
〔分担科目〕農学生命科学特論Ⅱなど
教養教育科目：
スタディスキル導入科目，自然・科学科目群など
6. 採用予定時期 令和3年11月1日（以降の出来るだけ早い時期）
7. 待 遇 (1) 給与については，国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用になります。
(2) 労働条件については，弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有し，研究及び教育上の優れた能力を有すること。又は，赴任時までに博士の学位を取得出来る見込みがあること。
9. 応 募 書 類 (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
(2) 研究業績目録（業績の区分，記載方法については，農学生命科学部ホームページを参照してください）

- (3) 研究業績目録に記載された著書，原著論文，総説のうち主要なもの10編以内の別刷又はコピー
- (4) (3)のうち5編以内について，各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
- (5) 教育業績書
- (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
- (7) 学会・社会における活動状況の説明書
(所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)
- (8) 従前の研究活動の特徴を述べたもの(2, 000字以内)
- (9) 今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの(2, 000字以内)
- (10) 応募者に関する参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先
(氏名，所属，役職，連絡先所在地，電話番号，E-mail アドレス)

※必要書類中(1)，(2)，(5)，(6)は所定の様式に記載してください。

様式は，農学生命科学部のホームページからダウンロードしてください。書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方にご注意ください。

※Web応募の場合，全体をzip形式で圧縮してJREC-IN PortalのWeb応募機能から提出してください。

10. 応募期限 令和3年8月10日(火)(書類必着)期限を過ぎた応募は受けません。

11. 選考方法 (1) 書類選考
(2) 候補者による発表(これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について)
(3) 候補者に対する面接
※(2)(3)については別途通知します。

12. 書類提出先 (1) 郵送の場合
〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)宛
※封筒に「教員応募書類(植物分子生理学分野助教)在中」と朱書きし，簡易書留，レターパック，EMS，その他法令で認められる送付方法により，送付記録の残る方法で送付してください。
(2) Web応募の場合
JREC-IN Portal Web応募 (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)

13. 問い合わせ先 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)
Tel : (0172)39-3748 E-mail : jm2745@hirosaki-u.ac.jp

14. その他 (1) 生物学科には，教育コースとして基礎生物学コース，及び生態環境コースの2コースがあります。今回の公募は，基礎生物学コースの教員補充に伴うものです。

- (2) 生物学科は、生物が示す基本的な生命現象と、生物の多様性や進化のメカニズムについて、分子・細胞・個体・集団の各レベルで理解するための教育研究を行っています。その中で、基礎生物学コースは生命現象の解明と生物科学の発展に資する人材の育成に取り組んでいます。
- (3) 今回の公募では、植物（菌類、藻類等を含む）を対象とした個体・細胞レベルの生理機能に関する研究経験を有し、本学着任後も当該分野の研究を継続して行える方を募集します。特に、当該分野において情報科学的手法（オミックス解析等）を用いた研究・教育を進めることができる方を望みます。また、研究を通して得られた知識を生物学、農学及び地域社会に還元できる人材の育成に学科教員と協力して取り組める方、大学院における専門科目の授業を英語でできる方を望みます。
- (4) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学であり、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (5) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (6) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。
(ホームページの URL <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)
- (7) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
- (8) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は教育研究院に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合は、所属が「自然科学系 農学・生命科学領域」の他に、教員養成部門に所属することになります。
- (9) 応募書類により取得する個人情報、本公募による植物分子生理学分野助教候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

以上